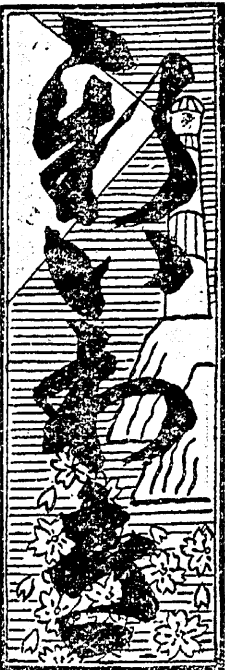


刊夕 日三十月十



# 縣生產品の大評定

濱通の木炭査定會

來る廿二日平町役場構内で

迫經濟部長も立會ふ

本縣木炭査定會は濱通り木炭の外各檢査支所長並に福島、同業組合の當番主催で来る二十二日午前十時から平町役場標内に於て催される同會は全縣下の生産品二百俵余を集めて品質並に等級統一を圖るもので會長にある迫經齋部長以下孕石山林課長及び技師數名の外各檢査支所長並に福島、田村、會津、縣南、濱通り五同業組合長、平木檢査所檢査員二十一、濱三郡木炭同業指導員十一名それに東京方面から問屋數名の列席を以て嚴査される木炭に對する査定批判の大評定であると。

舊菊田方部の風害

稲の倒伏と穂摺れ

其の爲め山手は約一割減收  
荒された發育盛の大根

石城郡舊菊田方部に於ける本月初めの暴風被害が石城蜂屋その他柿の豊作を全滅させたてゐる六俵の收穫を確實だと語られてゐるが其れで尙ほ反當り

# 映面會

名醫九卷を揃へて  
十八日平第三校で

東京鐵道局では一般旅客に對する旅行案内と名勝地紹介の爲め局所有の外、本省の映画を借り受け來る十八日午後六時から平町第三小學校々庭に於て無料公開する野外映寫の活動寫眞會を開催の筈であるが映寫には東鐵局の係員並びに本省映寫班の説明があり尙ほ寫眞は左記の如く何れも優

道路は皆さん左側

平署と交通安全デー

注意の一步に危険なし

平署では明十四日から十五日に至る交通安全デーに諸般の準備を整へたが實施計畫は平町内の要所に立看板五個、常陽銀行脇とマルトモ書店前に交通標識器の行燈二個町内五ヶ所に張幕を掲ぐるものゝ外左記宣傳ビラ二萬枚を小學校から一萬枚を自動車で撒布の

客だが巡回宣傳隊は樂隊附三台の自動車で管内を一週する由である

一、道路は皆さん左側  
怪我は四辻曲り角  
三、う  
つかり道路に駆け出すな  
四、道路で遊ぶな遊ばすな  
五、注意の一步に危険なし

昨日の石城の共販

米價十圓台に崩落

三六八俵全部取引さる

石城郡販聯昨十二日の俵米共  
販は出荷三百六十八俵で十餘  
名の斃れの結果は豫想の如く  
大暴落を呈し大野倉庫を隣接  
地の四倉商人が取つたものに  
比較高値を見せたのみで何れ  
も十圓台に下り賣手側も愈よ  
思惑を斷念して左記の相場で  
取引されたが此の外飯野村か  
ら出た新米(等外)十俵は一俵  
十圓八十三錢で商談がついた  
大野三五俵(十一圓二十七

錢) 小川七八俵(十圓四十  
二錢) 平窪七六俵(十圓四十四  
十五錢) 飯野一號五九俵(十  
圓五十四錢) 同二號五九俵  
(十圓四十一錢) 同三號六一  
俵(十圓五十二錢) 以上

### 養子の搜索願

双葉郡久の濱町字東町一七高  
木丑之助養子清一郎(三)は本  
年五月小名濱町通稱アテフチ  
船主方の漁夫に雇はれたが去

常 識 講 座

ハツシヨン・プレーは  
キリスト受難劇を指す  
單にハツシヨンと云ふ  
なら情または情慾、激  
情或は感動の意、プレ  
ーは遊戲、演劇、奏樂  
の類を稱し遊ぶことや  
演技する事をも其う云

本年の平屠畜場  
廿萬半口の新記

年次増加する食肉の需要高

一ヶ年に牛馬豚三千頭

平厩畜場に於ける厩畜の肉量は一ヶ年間に大休十七萬キロ  
 台で昨年の厩畜數は  
 牛九五頭(肉量一八八〇七  
 キロ)馬四〇五頭(五〇二  
 八五キロ)豚二九六頭(一  
 三五〇三キロ)馬一五三頭  
 二〇〇〇キロ(一一頭  
 二五七五三キロ)豚二六  
 三頭六〇七六八キロ(二五  
 四七頭七二八一〇キロ)哉  
 弧内は本年の厩畜數

平署の捕賊賞與

本署に於ける左記署員は今回  
知事から賞金及賞詞の表彰を  
受けた

竊盜犯宅校浦房繼喜協力逮捕で宗政政雄 菊地作次郎  
兩巡査  
竊盜犯人長岡伊平協力逮捕  
で宗政政雄 草野高志巡査  
文書偽造行使詐欺横領犯木  
村甲二協力逮捕で布施善次  
郎巡査  
詐欺犯金子常松逮捕で鈴木  
忠正巡査部長  
住居侵入竊盜未遂薄葉清勝  
協力逮捕で要田留吉巡査  
竊盜犯安食恒雄逮捕で要田

## 霜の語

(3) 半谷生

また琉球、小笠原の諸島では一年中結霜することはありません、けれど其の南方の台灣内地では一ケ年に一、二回の結霜があると云はれてます。たとひ結霜の危害を蒙むるに拘る譯のものではありません、前に述べた様に農作物の活動を始める時期に關係する

期でない、従つて何等の影響がないのであります。

前後遅延はあらうとも毎年これが有るものとしますならば何等かの方法を以て其の豫防を講じなければならないので

留吉巡查  
競馬法違反犯人(福島)二階

堂喜三郎外九名協力逮捕で  
菊地部長刑事(以上)

賭博の非現行  
石城

郡赤井村の川瀬炭鑛糧食部雇  
爲目彦太郎(三七)が平町田町藝

十五圓  
詐欺

求職の青年から  
町四丁目和泉屋旅館の雇人

河町横町四三眞間亭意惣四二）  
去る三日同旅館に職を探し  
宿泊したる仙台市連坊小路  
原三五郎の次男春雄（二三）に  
切らしくそんな悪い服装で  
使ふものにも嫌はれるから  
十五圓で相當の着物を調へ  
やると春雄から右現金を詐  
して遊興に費消したこと平  
に發覺昨十二日檢舉された  
今晚は北の風、雨後曇  
明日は北西の風、晴

（小名濱測候所）

夫渡邊傳三郎儀十月十二日午前  
六時腦溢血にて急死致候に付此

段謹告仕候  
追て葬儀は十月十四日午後二時自宅出棺平町  
營火葬場に於て告別式を執行仕候  
十月十三日 喪主

三益  
兄弟  
渡邊  
渡邊  
外親  
戚傳  
一太  
同郎

このるが廣い宇宙間に屬するところであるから到底それは不可能事とされて居ります、只僅かに其の方法を講じて被害の程度を輕減せしむると云ふに過ぎないのであります、種々なる豫防方法の中に於て普通行はれるものは煙煙の方法であります、

これは豫め松や杉類の生葉又は葉、榎、木屑の如きを圓筒の傍らに多量を要意し結霜の虞れある時夕方から之れに火を點じて地上に棚引く濃煙で以て氣溫の冷却を防ぐと云ふ遠方なのでありますが而かも相當に廣い區域に對し翌朝旭の昇るまで一帯に續けなければ効力が少ないのみならず若し狭小な部分だけに之れを行へば却て周圍の寒冷なる空氣を誘導する原因となるので其の爲め害と云ふほどでなくとも實際の効果は薄いものなのであります、

# 産業方面

農家の副業に

## 養鶏奨励

(?) 越沼節次述

大麥(茨城)鶏糞使用區 鶏糞堆肥二〇〇貫 鶏糞液肥二〇〇貫 配合肥料二斗 過燐酸石灰七貫 購入金肥四圓 大麥收量四石五斗 收入二八圓八〇錢 利益二四圓八〇錢

無使用區 普通堆肥二〇〇貫 大豆粕一〇貫 過燐酸石灰七貫 飼料二五〇貫 購入金肥四圓四九錢 大麥收量三石五斗 收入三一圓四〇錢 利益一七圓九四錢

西瓜(栃木)鶏糞使用區 乾鶏糞二〇〇貫 過燐酸石灰一五貫 流酸加里一二貫 購入肥料代二〇圓六〇錢 西瓜收穫量一二〇貫

無使用區 米糠八貫 油粕六貫 過燐酸石灰一五貫 流酸加里六貫 購入肥料代三九圓 西瓜收穫量一〇〇貫

苜蓿(栃木)鶏糞使用區 鶏糞一五〇貫 過燐酸石灰一五貫 流酸加里一二貫 購入肥料代一七圓六〇錢 收量七〇〇貫

無使用區 米糠一六〇貫 粕二七〇貫 過燐酸石灰七五貫 流酸加里一〇貫 購入肥料代三六圓二〇錢 收量五〇〇貫

藥煙草(群馬)鶏糞使用區 鶏糞堆肥四〇〇貫 豆粕三二貫 流酸加里一〇貫 購入肥料代一七圓四〇錢 收量六四貫 收入二四六圓八〇錢 利益二九圓四〇錢

無使用區 配合肥料三〇貫 豆粕六四貫 流酸加里九貫

購入肥料代三八圓三〇錢 收量六〇貫 收入一二二圓八〇錢 利益八三圓五〇錢

平町 三三三屋 田町

## 牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 田町

和久井屋

品目	単位	価格
月カツレツ	三ツ	一〇〇
火カツレツ	三ツ	一〇〇
水カツレツ	三ツ	一〇〇
木カツレツ	三ツ	一〇〇
金カツレツ	三ツ	一〇〇
土カツレツ	三ツ	一〇〇
日カツレツ	三ツ	一〇〇

特にマルトモのランチは...

RESTAURANT MARUTOMO 堂食モトルマ

## 産科、婦人科

# 根本醫院

入院隨時 手術室完備 根本貞雄郎

フォード自動車 並に純正部分品 各附屬品販賣及修繕

久保田商店

日下家政婦會

日下家政婦會

七二三番

スベインG・H・N 元詰 ゴルフポートワイン

特越品記念半額大提供

参圓 御買上 福引

婦人科 五十嵐雄二

多田井質店